

令和8年2月12日
市民環境部

佐志小学校5年生 ワカメ養殖収穫体験 ～未来を担う人材を育てる佐賀県唐津湾ワカメ養殖体験プロジェクト～

佐志小学校5年生は、総合的な学習の時間を使って、佐賀玄海漁協や「からふさ研究会」の協力のもと、地引網体験や漁業の学習を行ってきました。この取り組みは、令和7年11月21日のワカメ養殖（種付け）体験に引き続き、収穫の時期を迎えたワカメの引き上げを行うものです。

また、佐志小学校が実施しているこの取り組みに、今年度も日本航空（JAL）グループからは空港のグランドスタッフなどの社員が、九州大学からは脱炭素施策専門の教授が参加し、講話を通じて環境問題について学びます。

地域活性化をはじめ、豊かな地球を次世代へ引き継ぐため、「JAL」「九州大学」が、ワカメの持つ可能性に期待して参加するものです。

1 日時

2月19日（木）13時30分から15時30分まで【少雨決行】

2 内容（場所）

【講話】「ブルーカーボンについて学ぼう2」講師：九州大学

「JALのお仕事、SDGsについて学ぼう2」講師：JAL

（佐志小学校 1階 第1音楽室）

【体験】ワカメ収穫体験（佐志小学校東側の岸壁など）

【活動】海岸清掃（佐志浜人工海浜）

3 その他

○参加者 5年生児童、教職員

からふさ研究会、JALグループ社員、九州大学、唐津市職員

○この事業は「唐津市カーボンニュートラルチャレンジからつ補助金」「唐津市いきいき学ぶからつ子育て事業」のもと実施します。

（JAL・九州大学との連携に関する問い合わせ先）

■環境課 担当：中江、檜崎

電話：0955-72-9175（内線：2054）

（養殖体験学習に関する問い合わせ先）

■佐志小学校 担当：井手（教頭）

電話：0955-74-3445

Press Release

唐津市ブルーカーボンの取組み

～産学官連携による地元小学生とのワカメ収穫体験～

唐津市と九州大学、および日本航空株式会社(以下「JAL」)は、『未来を担う人材を育てる佐賀県唐津湾ワカメ養殖体験プロジェクト』としてブルーカーボンを活用した取組みを進めています。



種付け体験時：九州大学(早瀬教授)によるブルーカーボンの講話



からふさ研究会によるワカメの種付け作業の実演

ブルーカーボンを活用した最初の取組みとして、海洋教育に力を入れている「佐志小学校」と地元漁業者の有志によって構成される「からふさ研究会」の参画のもと、2022年度からワカメ養殖(種付け及び収穫)体験を実施しており、この取組みを継続的なものとするために、今年度も2025年11月21日にワカメ養殖(種付け)体験を実施しました。

今回は、収穫の時期を迎えたワカメの引き上げを行うとともに、JALのSDGsに関する取組みのほか、九州大学によるカーボンニュートラルに関する講話を小学生に向けて行い、環境問題への学びを深めます。

近年、気候変動への対応やカーボンニュートラルの推進が世界的に注目されているなか、養殖体験を行うワカメは食用だけではなくブルーカーボンとして環境面での効果も期待されています。

当該海域のCO₂吸収源として育ったワカメの一部は、収穫せずにブルーカーボンとして海に残し、海中・海底に貯留させることで気候変動緩和対策につなげます。

この取組みに関するJALの参加は、唐津市と包括連携協定を締結している九州大学が、JALと産学連携事業に取り組んでいることから実現しています。



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



JAPAN AIRLINES

唐津市におけるブルーカーボンを活用した取組みが
2025年1月10日、Jブルークレジット®認証を取得しました

■ 認証の概要

<プロジェクト名称> 未来を担う人材を育てる佐賀県唐津湾ワカメ養殖体験プロジェクト

<申請者> からふさ研究会、日本航空(株)九州支社
九州大学、唐津市、唐津市立佐志小学校

<認証クレジット量> 0.4 t-CO₂



ブルーカーボン生態系によるCO₂吸収の仕組み(概念図)
出典：JBE資料

【本件に関する問い合わせ先】 唐津市 環境課 担当：中江、檜崎
〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号 TEL:0955-72-9175